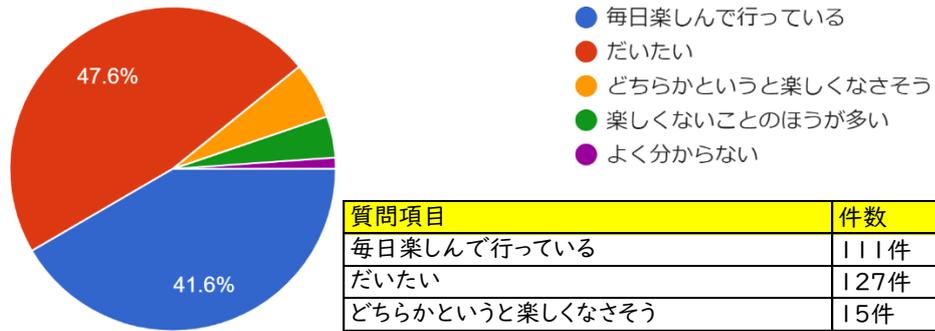


令和5年度高蔵寺中学校教育活動へのアンケート集計結果

アンケート実施時期 令和5年12月22日～1月9日
 回答数 267 / 769 (保護者数)
 回答率 34.7%

1 お子様は、学校に楽しんで行けていますか？

267件の回答



質問項目	件数	割合
毎日楽しんで行っている	111件	41.6%
だいたい	127件	47.6%
どちらかというとなさそう	15件	5.6%
楽しくないことが多い	11件	4.1%
よくわからない	3件	1.1%

2 学校の授業について

267件の回答



質問項目	件数	割合
分かりやすい授業が多い	16件	6.0%
おおむね、どの教科の授業も分かりやすい	79件	29.6%
教科によっては、分かりにくい授業がある	136件	50.9%
ほとんどの教科が分かりにくくて楽しくない	9件	3.4%
子どもがどう感じているか、分からない	27件	10.1%

3 教師は、お子様のことをよく理解して指導にあたっていますか？

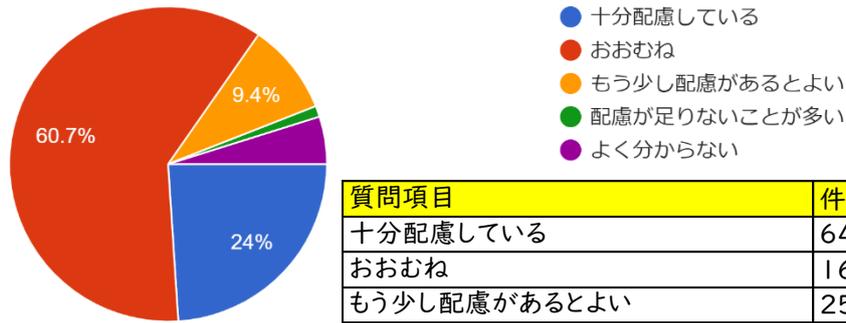
267件の回答



質問項目	件数	割合
ほとんどの教師は、子どもをよく理解し親身になってくれている	43件	16.1%
おおむね	136件	50.9%
場面によっては、理解していないと感ずることがある	60件	22.5%
理解が足りないと感じている	8件	3.0%
よくわからない	20件	7.5%

4 学校は、安全や健康に十分配慮をしていると感じていますか？

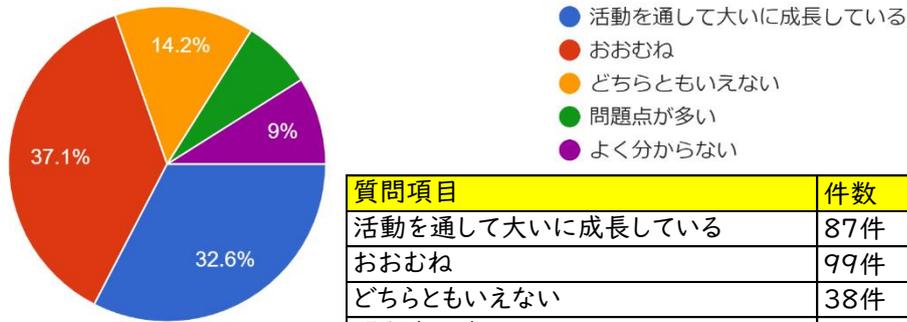
267 件の回答



質問項目	件数	割合
十分配慮している	64件	24.0%
おおむね	162件	60.7%
もう少し配慮があるとよい	25件	9.4%
配慮が足りないことが多い	3件	1.1%
よく分からない	13件	4.9%

5 部活動（地域クラブ含む）は、お子様の身体や心の成長に役立っていますか？

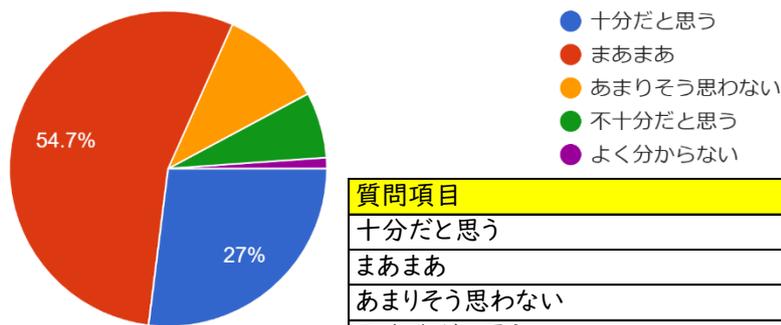
267 件の回答



質問項目	件数	割合
活動を通して大いに成長している	87件	32.6%
おおむね	99件	37.1%
どちらともいえない	38件	14.2%
問題点が多い	19件	7.1%
よく分からない	24件	9.0%

6 学校は、保護者の皆様に向けて、HPや通信で学校の様子をお知らせできていますか？

267 件の回答



質問項目	件数	割合
十分だと思う	72件	27.0%
まあまあ	146件	54.7%
あまりそう思わない	28件	10.5%
不十分だと思う	18件	6.7%
よく分からない	3件	1.1%

【令和5年度アンケートの結果分析】

1 回答数について

多くの保護者から学校教育へのご意見をいただくことができた。今年度からは H&S でアンケートを実施している。フォームから容易に送信できることで多くの回答を得ることができたと考えている。

保護者の声を拾い上げ教育活動に還元したい。このアンケートによって得られた数々のご指摘は、本校の教育活動を改善する重要な資料になっている。一層開かれた学校運営を

推進しながら、回答数が増加するよう取り組む。

2 設問1「学校は楽しいか」

「毎日楽しんで行っている」と「だいたい楽しんで行っている」の合計89.2%は昨年度の90.9%よりも1.7%低くなっている。数値が低くなっているとはいえ、大半の保護者は、子どもにとって学校は楽しいところであるという認識があり、子どもの学校に対する適応感は引き続き高い状態であると考えられる。ただし、減少しているのは事実であり、子どもにとって「学校が楽しみ」と思う教育活動は、我々も進めなければならない。行事の充実や分かりやすい授業など、様々な視点で取り組んでいく。

3 設問2「授業について」

「分かりやすく楽しい授業が多い」と「おおむねどの教科も分かりやすい」を合わせた割合が、昨年の33.2%から35.6%で2.4%上昇している。ここ3年間では高い数値になっているが、「教科によっては分かりにくい授業がある」の回答が半数の割合をしめていることから、引き続き分かりやすい授業に向け、研修を積み、目標の明確化、授業計画、単元構想など様々な視点で改善していく必要がある。

4 設問3「教師の子ども理解について」

「ほとんどの教師は、子どもをよく理解している」「おおむねよく理解している」は合わせて67.0%であり、昨年度の69.1%よりも2.1%減少している。また「場合によっては、理解していないと感ずることがある」「理解が足りないと感じている」は昨年22.9%で今年度は25.5%であり、昨年よりも2.6%増加している。保護者が教師の生徒理解不足を感じているというこの数字は真摯に受け止めなければならない。毎学期実施している教育相談、頻繁に見ている日記・ノートなど様々な子どものつぶやきに、きめ細かく目を行き届かせ、なにより生徒に親身になって寄り添うことを心がけなければならない。

5 設問4「学校の安全」

昨年は学校が安全、安心な場所と捉えている割合が88.2%だったが、今年度は84.7%であり3.5%減少している。保護者や生徒にとって、学校が安全で安心できる場所であり続けることは大切なことと考えている。様々な要因をあげると、校内外を問わず、生徒指導上の問題傾向が増加していること。あるいは、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の継続的な流行などがあげられる。生徒指導上の問題は、何が原因で、なぜその行為がいけないのかを、本人が振り返り気づくことのできる指導を心がける。また感染症については、換気を適宜行ったり、体調不良者を早期に発見したりして、学校の安全・安心を確保することに注力しなければならない。

6 設問5「部活動（地域クラブ含む）について」

「部活動を通して大いに成長している」と「おおむね成長している」で、合計69.7%で、昨年度の合計68.7%よりも1.0%増加している。新型コロナウイルス感染症が5類へと移行した中ではあるが、昨年度同様、生徒の成長の場として部活動の取り組みが重要な役割を担っていると言える。部活動指導員や地域クラブ指導員と職員とが連携して、短い時間の中でも有意義な活動になるよう進めていかなければならない。

7 設問6「学校からの情報発信について」

「十分だと思う」と「まあまあそう思う」で、合計81.7%の回答があった。昨年度の79.0%より、2.7%増加した。この数字は保護者の方々の学校教育への関心の高

さを示していると言える。今後も学校教育活動において保護者の理解を得ることは大変重要である。そのためには学校の教育活動を保護者に知ってもらうことが必要であり、その役割を果たす学校ホームページや学年通信は大切な存在である。今後も、学校ホームページの充実や通信等の発行等に力を注ぎたい。一方で学校行事の画像については、もっとホームページにあげてほしいという希望もある。期待に応えられるように計画的にアップしていく。

多くの御意見ありがとうございました。御意見・御感想については、個人が特定されるものや学級・学年・部活動が限定的に受け取られるものも多くありますので、公表を控えさせていただきます。ご理解ください。